

どろんこだいすき

令和7年2月3日
千代田区立昌平幼稚園
園長 浅岡 寿郎

『昌平キッズ』ビオトープだより NO. 230

寒さの厳しい季節になりました。落葉樹はすっかり葉が落ち、虫たちもほとんど見られなくなり、少し寂しい風景にも見える園庭ですが、栽培物や樹木をの様子をよく見てみると、春に向けて少しずつ生長していることがうかがえます。寒さに負けず、春に向けた準備が始まっている園庭の様子をお伝えいたします。

土となかよしで植えた花の様子

<ひよこ組のクロッカス>



クロッカスの代表的な花言葉は「切望」。“寒い冬を乗り越え、春を待ち望む”という意味が込められています。



<うさぎ組のスイセン>



スイセンは北陸地方では「雪中花」とも呼ばれ、冬の寒さがまだ残る中でも凛と咲く姿から、清らかさや生命力の象徴として捉えられているそうです。



<きりん組のチューリップ>



春の花の代名詞の一つとも言えるチューリップには、「博愛」「思いやり」といった花言葉がありますが、色ごとに異なる花言葉もあるようです。咲いたらぜひ、お子様と一緒に調べてみてください！



どのクラスも、少しずつではありますが、芽が伸びてきています。自分の花を大切に育てようという思いをもって世話をする姿が見られます。

園庭の植物の様子



ひよこ組前のプランターにも、チューリップの芽が顔を出し始めました！



ハナズオウの木には、種の入ったさやがいっぱい実っているのが見えます。



ユズの実もまだまだたくさん実っています。



サザンカの花がたくさん咲きました。落ちていた花びらを使って遊ぶ子どもたちの姿も多く見られます。

ビオトープクイズ

園庭の球根から芽が出ています。この芽は春になると♪赤、白、黄色～♪の花が咲きます。これは何の球根でしょう？

- ① ちゅういっぷ
- ② ひやしんす
- ③ くろっかす

2月7日（金）の登園時まで、
解答用紙をビオトープクイズ応募箱に
入れてください。

